

NEW WAVE

ニューウェーブ

45号
2017.7
発行

- 特集** 「男女共同参画に関するアンケート調査」の調査結果報告について
- 講演会** 「女性活躍推進講演会」の開催について
- お知らせ** 男女共同参画に関する標語を募集します。



前田川遊歩道

Seminar …講座のご案内

「女性活躍推進講演会」

働き方改革とワーク・ライフ・バランス ～男性管理職が語る実践ノウハウ～

女性が活躍するためにはワーク・ライフ・バランスの実現が重要です。
「男性の働き方、生き方」について考えます。



日時 平成29年7月31日(月)14時～15時20分

場所 横須賀市役所5階正庁

講師 **渥美 由喜氏** 内閣府地域働き方改革支援チーム・地域推進アドバイザー
(兼務 株東レ経営研究所)

申込・お問い合わせは
こちらへ

申込 横須賀市コールセンター(8時～20時、年中無休)
電話 046-822-2500 / FAX 046-822-2539
問合せ 人権・男女共同参画課 ☎046-822-8228

Information …お知らせ

男女共同参画に関する 標語を募集します。

家庭や職場で感じる男女共同参画に関する想いを
あなたの言葉で伝えてみませんか。

例えば・・・

- ・仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)
- ・男性が家庭や地域で豊かに生きる姿
- ・女性の活躍推進

などをテーマに

詳しくは、チラシまたはホームページをご覧ください。

<http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/2420/gender/>

提出先：〒238-8550 横須賀市小川町11番地
横須賀市役所 人権・男女共同参画課
メール we-pc@city.yokosuka.kanagawa.jp
問合せ：電話 046-822-8228

参考までに、平成28年度の入賞作品をいくつかご紹介します。

父と母 協同くらし 子の手本	共同の心を繋ぎ 次世代へ
家エプロン 会社でスーツ ママ変化	シェアーして 守る家庭に 笑いの輪
保育園 雨風負けずに パパと行く	

発行/横須賀市 市民部 人権・男女共同参画課 〒238-8550 横須賀市小川町11 TEL046-822-8228
mail:we-pc@city.yokosuka.kanagawa.jp HP:<http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/2420/gender/index.html>

◎この広報紙は12,000部発行し、1部あたりの印刷経費は9.99円です。
◎この広報紙は、グリーン購入法に基づく平成29年度横須賀市グリーン購入調達方針の判断基準を満たす紙を使用し、かつ印刷用の紙へのリサイクルに適した材料(Aランク)のみを用いて作製しています。

エコライフ ◀ 意識をすれば、必ず変わる ▶ 男女共同参画

募集要項

【内容】

テーマ 「男女共同参画」
標語(5・7・5の型など)

【応募資格】

市内在住・在勤・在学の方

【応募期間】

平成29年9月29日(金)まで

【応募方法】

応募用紙に必要項目を記入し郵送、メールか直接、市役所2号館2階人権・男女共同参画課へ。
応募用紙は人権・男女共同参画課、行政センターなどで配布する他、市HPからダウンロードできます。(必要項目を明記した任意書式でも可)。

※1人何作品でも応募可。

但し、応募作品は未発表の自作のものに限ります。

※応募作品は返却しません。

※応募作品の著作権や使用権等の一切の権利は市に帰属します。

【表彰】

入選作品5点。賞状と副賞を贈呈

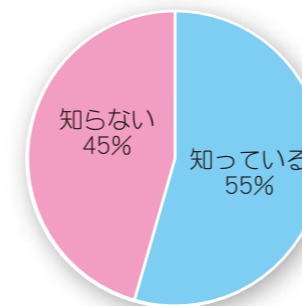
※その他詳細はチラシまたは市HPをご覧ください。

～データで見る横須賀市の男女共同参画～ ＜男女共同参画に関する市民アンケート調査＞

平成28年7月～9月にかけて、市民、市職員、高校生、町内会・自治会、市内事業所を対象に、男女共同参画に関するアンケート調査を実施しました。

今回のニューウェーブでは、その調査結果のなかから、市民を対象とした「市民アンケート調査」の結果の一部をピックアップしてご紹介します。市民の皆さんの男女共同参画に関する意識や実情を見てみましょう。(グラフは小数点以下四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。)

1、「男女共同参画(社会)」という言葉を知っていますか。



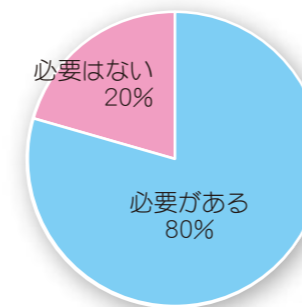
選択肢	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代
知っている	55%	67%	49%	46%	56%	58%
知らない	45%	33%	51%	54%	44%	42%

「知っている」と回答した人が55%でした。
年代別では、20歳代の認知度が高い結果となりました。

【市民アンケート調査 概要】

対象：横須賀市民
20歳～69歳の
男女2,000人
(無作為抽出)
実施時期：平成28年8月
回答数：910件
回収率：45.5%

2、男女共同参画を進める必要があると思いますか。

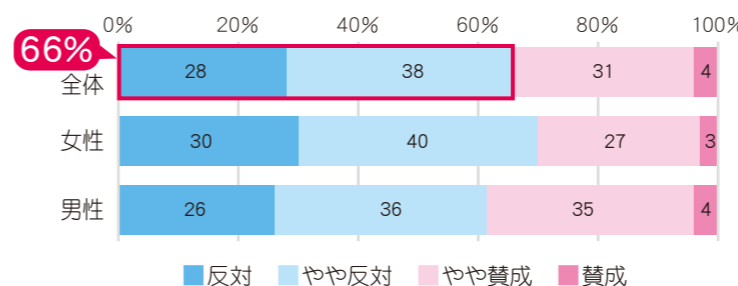


「進める必要がある」と回答した人が80%でした。

男女共同参画を阻害している理由はなんでしょうか。

- ・社会全般に男性優位の考え方や慣習が根深いから(28%)
- ・仕事と家庭の両立が図れる行政サービス、民間サービスが不足しているから(23%)
- ・性別によって役割を区別する考え方や慣習が根深いから(20%)

3、「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思いますか。



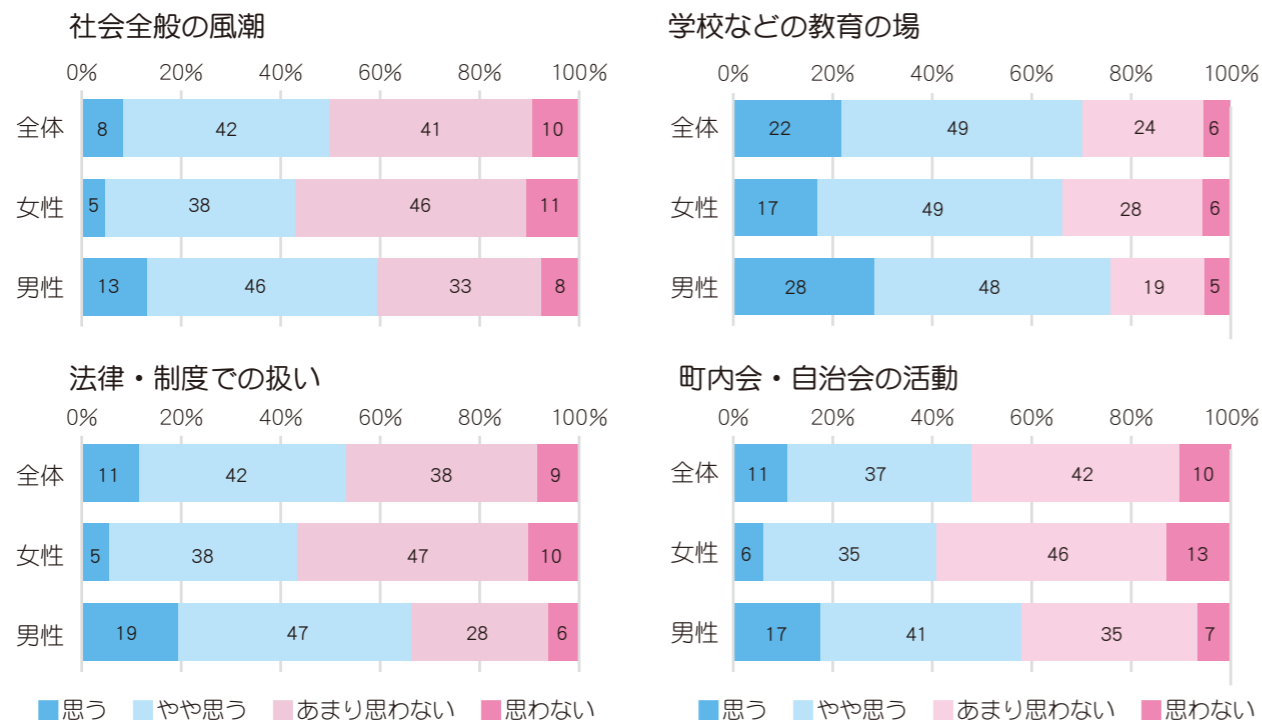
「反対」「やや反対」の合計の回答は、66%となっています。
男女別では、女性が男性より「反対」「やや反対」の合計が8ポイント多くなっています。

■反対 ■やや反対 ■やや賛成 ■賛成

生活の中での男女共同参画

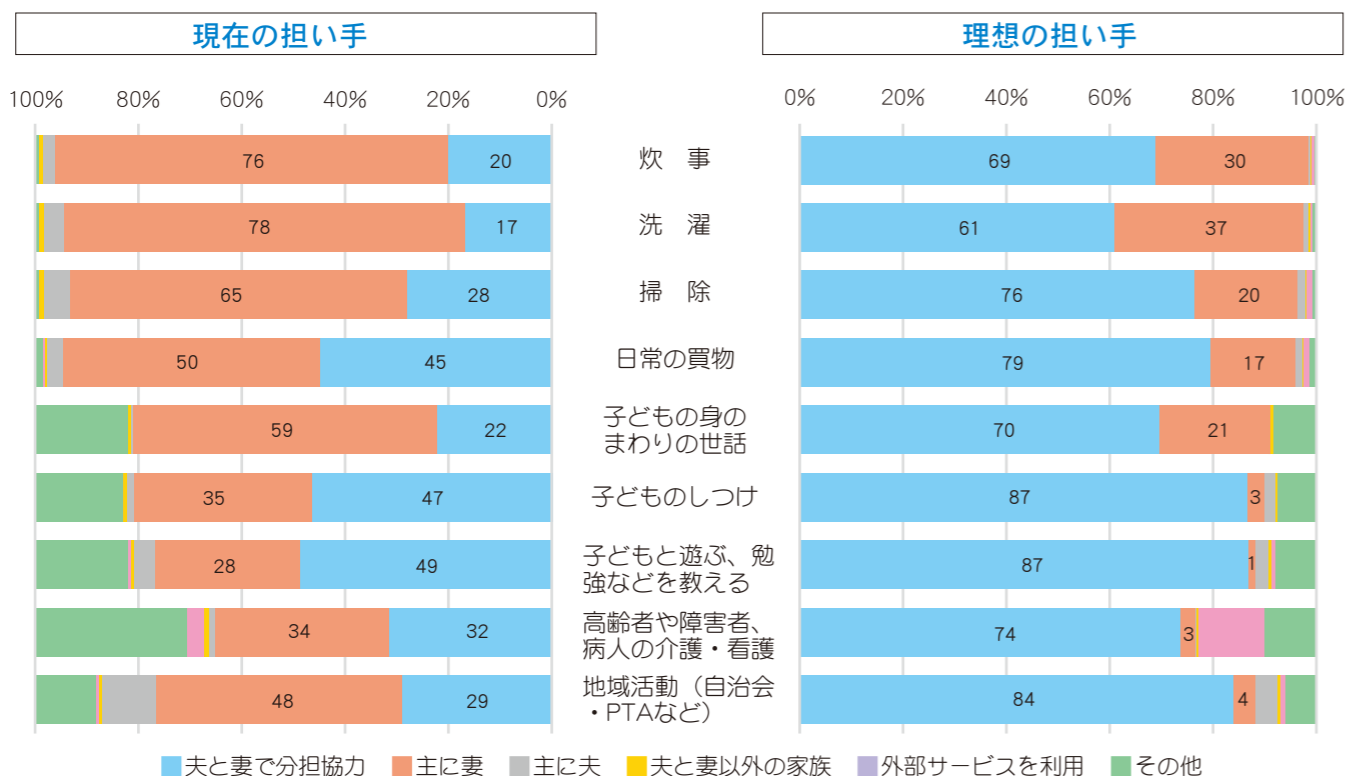
4、以下の各場面では、男女は対等に活躍している、あるいは男女共同参画が進んでいると思いますか。

全ての項目で男性が女性より、「思う」「やや思う」の合計が多くなっています。

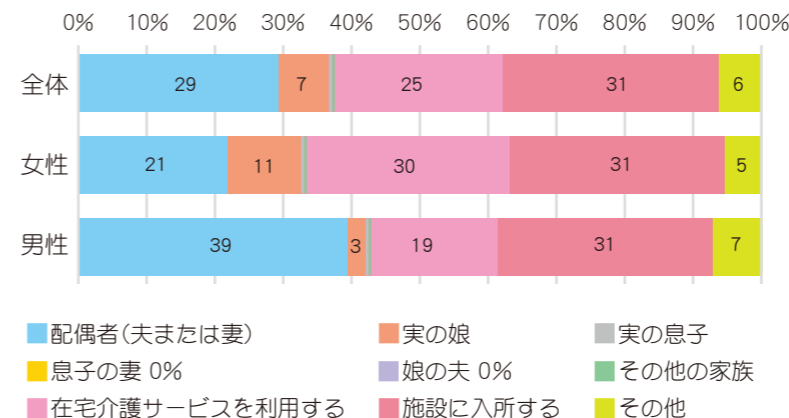


5、家事などは誰が日常的に担っていますか。また、理想ではどうしたいと考えていますか。

現在の担い手では、9項目中、7項目で「主に妻」の回答が多くなっています。
理想の担い手では、「夫と妻で分担協力」とした回答がすべての項目で、6割を超えています。



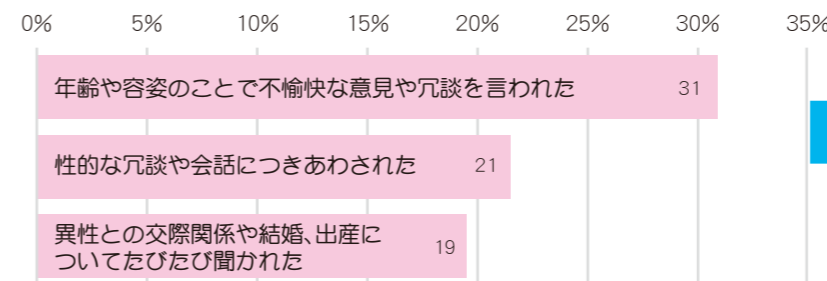
6、介護・看護を受けるとしたら、主に誰に世話をしてほしいですか。



全体では、「施設に入所する」と回答した人が多くなっています。
「配偶者(夫または妻)」と回答した男性は39%で、女性の21%より高くなっています。
「在宅介護サービスを利用する」と回答した女性は30%で、男性の19%より高くなっています。
「息子の妻」または「娘の夫」と回答した人はいませんでした。

セクシュアル・ハラスメント

7、最近5年以内に、職場や学校、地域などで不快な思いをしたことがらは何ですか。(本人、家族、友人を含む)

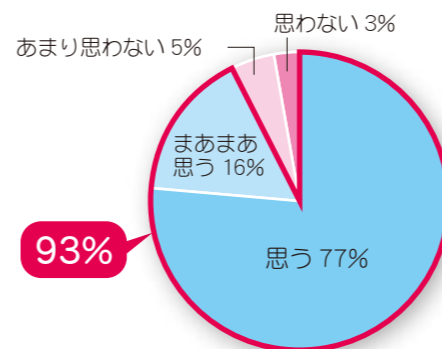


セクハラをなくすためにはどのような取り組みが必要だと思いますか。

- セクハラは人権侵害という社会意識づくり (47%)
- セクハラを禁止する法律や条例などの強化 (24%)

DV(ドメスティック・バイオレンス)

8、配偶者や恋人など親しい間柄における暴力は、一般社会における暴力と同様の加害行為であると思いますか。



9割以上の方がDVは加害行為であると認識しています。

対策や支援として特に重要だと思う取り組みはなんだと思いますか。

- いざという時に駆け込める緊急避難場所の整備 (52%)
- 家庭内であれ暴力は犯罪であるという意識の啓発 (47%)
- 加害者に対する厳正な対処 (44%)
- 緊急時の相談体制の充実 (31%)

◆横須賀市の相談窓口

女性のためのDV相談(こども青少年支援課)

配偶者や交際相手などからの身体的・精神的・性的・経済的暴力等に悩む女性の相談に女性相談員が応じます。
〒238-8550 横須賀市小川町16(はぐくみかん5階)
電話 046-822-8307
相談日時 月～金 10時～16時(祝日及び年末年始を除く)
相談方法 電話、来所(来所の相談は要予約)

デュオよこすか女性のための相談室

女性が日頃から抱える悩みに女性相談員が応じます。
〒238-0041 横須賀市本町2-1(総合福祉会館5階)
電話 046-828-8177
一般相談 月・水・金 9時～16時(面談は要予約)
法律相談 原則第2火曜日(予約制・女性弁護士対応)

詳しい調査結果は、市のホームページや市政情報コーナーなどでご覧になれます。
「女性の活躍推進」や「ワーク・ライフ・バランス」に関する調査結果は、次号以降に紹介予定です。